

電話／ファクス編

- 1 すぐに使えます …………… 108
- 2 電話のいろいろな使いかた …… 115
- 3 ファクスのいろいろな使いかた … 137
- 4 発信者番号の通知と表示 …… 140
- 5 電話やファクスの呼び分け …… 148
- 6 転送／メッセージ録音 …… 160
- 7 電話機からの設定 …………… 170

電話をかける／ファクスを送るには (発信)

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に2つのアナログポートを使用できます。ただし、パソコンでBチャンネル1本を使用しているときは、電話機は1台しか使用できません。

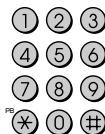
1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。



2 電話番号(最大32桁)を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに \oplus ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)



3 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイムで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合は、 \oplus ボタンによる発信、サブアドレスを追加した発信はできません。
- 続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約2秒以上置いてからダイヤルしてください。
- パソコンで2本のBチャンネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「発信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。(●CD-ROM「参考情報」)



ワンポイント

● 発信するまでの時間を変更するには (ダイヤル桁間タイマ)

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定 (機能番号：74) (☛P176)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」) (☛CD-ROM「参考情報」)

● (⊕) ボタンをダイヤルとして使用するには (ダイヤル終了識別)

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを (⊕) ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「# #で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定 (機能番号：75) (☛P176)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」) (☛CD-ROM「参考情報」)

● サブアドレスを指定して電話をかけるには

相手の電話番号を押したあとに、(✳) ボタン、サブアドレス (最大19桁) を押します。

〈例〉 0312345678 (✳) 12345

↑ ↑
電話番号 サブアドレス

● 受話音量を調節するには

電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。

TELで設定 (機能番号：17) (☛P182)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「その他」) (☛CD-ROM「参考情報」)

● ダイアル式 (DP) 電話機をお使いの場合は (ダイヤル種別)

ダイヤル種別を「DP固定」に設定します。

TELで設定 (機能番号：18) (☛P182)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「その他」) (☛CD-ROM「参考情報」)

● 発信を規制するには (発信規制)

アナログポートに接続した電話機やファクスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。

0発信規制：1桁めに0がつく電話番号をダイヤルしたときは発信できません。

外線発信規制：すべての外線発信ができません。

TELで設定 (機能番号：22) (☛P182)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「発信・着信2」) (☛CD-ROM「参考情報」)

発信規制を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。

● アナログポートを使用しない場合は

イーージーガードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。(☛P50、62)

TELで設定 (機能番号：08) (☛P180)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「発信・着信2」) (☛CD-ROM「参考情報」)

電話を受ける／ファクスを受けるには (着信)

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの1つのポートを使用中でも、着信を受けられます。2つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴る。



2 ハンドセットを取りあげて、相手とお話する。



3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- **ファクスに転送するには(内線転送) (☛P114)**
相手がファクスのときは、ハンドセットを取りあげると「ポー・ポー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファクスを接続している場合は、次の操作でファクスを受信することができます。
フッキングする→**(*)****(*)****(0)**を押す→ハンドセットを置く
- **着信音で相手を識別するには (INSなりわけサービス/疑似なりわけ)**
あらかじめ登録した相手からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。(☛P120)
- **着信音が鳴る電話機を指定するには(優先着信ポート指定)**
着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。(☛P115)
- **着信を拒否するには**
着信拒否を「する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。アナログポートごとに設定できます。
TELで設定 (機能番号: 16) (☛P182)
PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「発信・着信2」) (☛CD-ROM「参考情報」)
着信拒否を設定していても、内線からの呼び出しを受けることができます。また、TEL2ポートの着信拒否を設定していても、FAX自動転送(☛P137)は着信します。
- **アナログポートを使用しない場合は**
イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。(☛P50、62)
TELで設定 (機能番号: 08) (☛P180)
PCで設定 (TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「発信・着信2」) (☛CD-ROM「参考情報」)
- **特定の電話番号からの着信を拒否するには(迷惑電話防止)**
あらかじめ登録した電話番号からの着信を拒否することができます。(☛P124)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



お知らせ

- パソコンで2本のBチャンネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。(●CD-ROM「参考情報」)

内線でお話しするには (内線通話)

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話しすることができます。本商品をINSネット64に接続していなくても内線通話は利用できません。

ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合、この機能をご利用になれません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーン」という発信音が聞こえます。
INSネット64回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。



2 フッキングする。

「ブップブップ…」という音が聞こえます。
20秒以内に手順3の操作を行ってください。
20秒過ぎると、話中音が聞こえます。

3 * * 0 を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。



4 呼び出された方が出たら、お話しする。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。





ワンポイント

● フッキングとは

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



フックスイッチ

● フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）

フッキングの長さを「短い」、「普通」、「長い」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：73）（☛P176）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線着信の発信者番号を表示するには（内線着信ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定しているときは、TEL1ポートからの発信は「001」、TEL2ポートからの発信は「002」と通知されます。

TELで設定（機能番号：10）（☛P180）

PCで設定（TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）

お買い求め時は「ブルブル、ブルブル…」（呼出信号2）に設定されています。「ブルルル、ブルルル…」（呼出信号1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：15）（☛P182）

PCで設定（TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）

● 内線でお話中に電話がかかってきたときは

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☛P116）

● 内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：64）（☛P174）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛CD-ROM「参考情報」）



お知らせ

- 手順3で $\textcircled{*}$ $\textcircled{*}$ $\textcircled{0}$ 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。
- 接続機器を「接続しない」に設定したアナログポートでは、内線機能をご利用になれません。

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話中に、もう一方の電話機に転送することができます。

ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 お話中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒過ぎると、外の相手との通話に戻ります。



2 * * 0 を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。



3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。



4 ハンドセットを置く。



ワンポイント

- フッキングとは (➡P113)
- 内線で呼び出す音を変えるには (内線呼出信号設定) (➡P113)
- 内線機能を停止するには
内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。
TELで設定 (機能番号: 64) (➡P174)
PCで設定 (TEL・2ポート共通設定画面「その他」) (➡CD-ROM「参考情報」)
- 転送を取りやめるには
手順1でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取り上げると、保留にしていた方ともう一度お話しできます。
- 相手が応答しなかったときは
フッキングすると、外の相手とのお話しに戻ることができます。
- 相手が応答する前に転送するには
手順2の呼出中に受話器を置くと相手が応答する前に転送することができます。

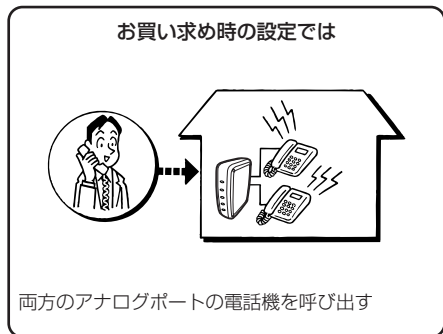


お知らせ

- 手順2で * * 0 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- 内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約30秒後に電話が切れます。

着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定) 設定

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。



● 必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機能	TELで設定 (☛P174)	PCで設定 (☛CD-ROM)	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号：62	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」：TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」：TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」：TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す

ワンポイント

● INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン (☛P116) を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発通知番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホンと疑似キャッチホンの2つの方法があります。

INSキャッチホン



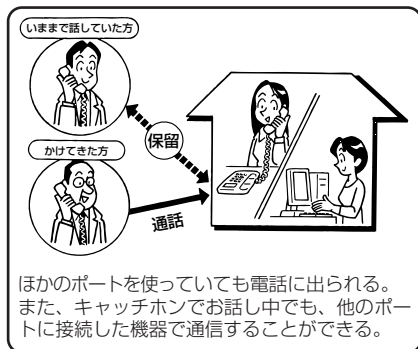
お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● 必要な契約

INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

INSキャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



INSキャッチホンを設定する

TELで設定 (☎P178)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる → * * * → 設定するTELポートの番号 (①または②) → ①② → * → ② → # → ハンドセットを置く

PCで設定

イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(☎P50、62)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ

3 ファックスのいろいろ

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

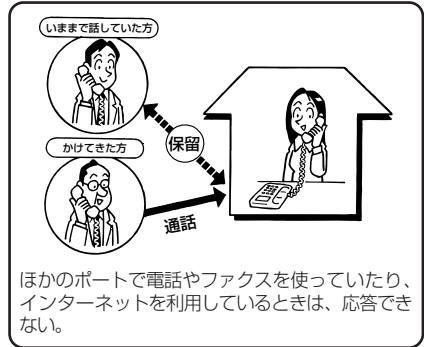
疑似キャッチホン

設定

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● 必要な設定

疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとに疑似キャッチホンの設定が必要です。



疑似キャッチホンを設定する

TELで設定 (P178)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→*→*→*→設定するTELポートの番号(①または②)→①②→*→①→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P50、62)

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

お話し中にかかってきた電話に出る

- 1 外の相手とお話し中に「プップ、プップ…」という着信音が聞こえる。



- 2 相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

あとからかけてきた方に切り替わります。



- 3 あとからかけてきた方とお話する。

疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。

INSキャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。



- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度フッキングする。



ワンポイント

- **フッキングとは** (●P113)
- **両方のアナログポートに電話機を接続しているときは**
 キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。(●P115)
- **INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと**
 着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた相手とお話しができます。
- **特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには** (通話中着信識別通知)
 通話中着信識別通知を利用すると、登録されている相手からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。(●P123)



お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 次の場合は、INSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。
 - ・ 接続機器の設定が「ファックス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」で、かつHLC（高位レイヤ整合性）設定が「する」になっているとき
 - ・ 相手の高位レイヤ整合性が「G2/G3ファックス」になっているとき
- FAX自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2ポートではINSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。(●P137)
- 他のアナログポートでフレックスホン (●P18) のいずれかを利用しているときは、INSキャッチホンをご利用になれません。
- INSキャッチホンの場合、三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順4でフッキングすると「プッププッ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話しができます。
- 通信中着信通知サービス (●P18) をご契約していて、両方のアナログポートにINSキャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話中に電話がかかってきたときは、TEL1ポートに接続した電話機から「プップ、プップ…」という着信音が聞こえます。
- 疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。
- 疑似キャッチホンはBチャンネル2本を使用するため、以下の制限があります。
 - ・ 2つのアナログポートで同時に利用できません。
 - ・ Bチャンネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
 - ・ お話中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
 - ・ 新たな着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INSなりわけサービス/疑似なりわけ)

あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けないようにするかを選択できます。
なりわけには、INSなりわけサービスと疑似なりわけの2つの方法があります。



INSなりわけサービス



相手が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

● 必要な契約

INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

● 必要な設定

INSなりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INSなりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
INSなりわけ	機能番号：05 (☛P180)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☛CD-ROM)	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 (☛P180)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」 (☛CD-ROM)	次のどちらかを選択する 「識別リングング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号（i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合のみ）	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☛CD-ROM)	INSなりわけサービスを契約している電話番号（最大32桁）を入力する



ワンポイント

● INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは1つのアナログポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。



お知らせ

- INSなりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。



お願い

- i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ



相手が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

● 必要な契約

一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。

アナログポートごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号：06 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☛CD-ROM)	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☛CD-ROM)	次のどちらかを選択する 「識別リングング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない

(次ページへ続きます)

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INSなりわけサービス/疑似なりわけ)

(前ページの続きです)

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号：90 ～99 (●P186)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(●CD-ROM)	識別する電話番号（最大32桁）を市外局 番から入力する サブアドレス（最大19桁）も登録できる



ワンポイント

- 相手が発信者番号を通知しないでかけてきたときは
疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ（着信拒否）
通常の着信音が鳴る（ブルルル、ブルルル…）	電話を受け付けない

- INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには
INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは、1つの番号（契約者回線番号/追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは、1つのポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。



お知らせ

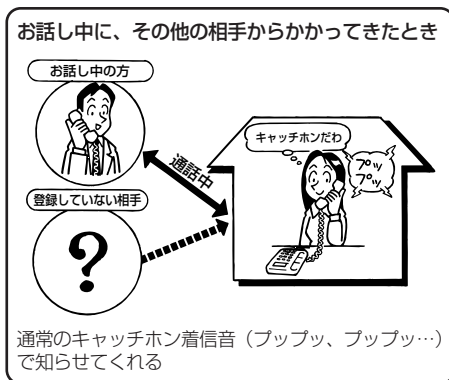
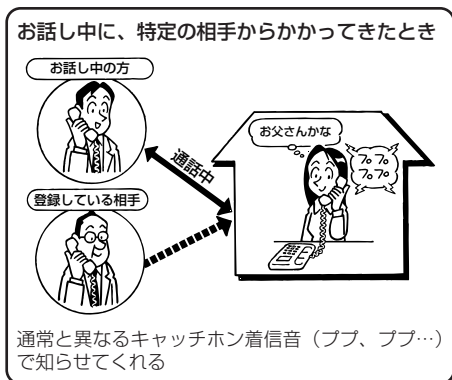
- 「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。
- 疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INSネット64から送られてくる発信者番号/サブアドレスが一致すると識別されます。

お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには (通信中着信識別通知)



なりわけ (INSなりわけサービスまたは疑似なりわけ) と、キャッチホン (INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン) の機能を組み合わせて利用することができます。

外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音 (プブ、プブ…) でお知らせします。



● 必要な契約

INSなりわけサービスとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約 (有料) が必要です。
 INSなりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSなりわけサービスの契約 (有料) が必要です。
 疑似なりわけとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、INSキャッチホンの契約 (有料) が必要です。

● 必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リングング」を選択してください。

INSキャッチホン／疑似キャッチホン (☛P116、117)

INSなりわけサービス／疑似なりわけ (☛P120、121)

TELで設定 (☛P178、180、186)

PCで設定 (☛CD-ROM「参考情報」)



ワンポイント

- お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときはなりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ (着信拒否)
通常のキャッチホンでお知らせする (ププッ、ププッ…)	電話を受け付けない

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話の呼び分けやファックス

6 転送／メッセージ録音

7 電話機からの設定

特定の相手からかかってきた電話の 着信を拒否するには(迷惑電話防止)



着信履歴に残っている相手の電話番号を迷惑電話番号として登録すると、相手が通知してきた発信者番号と照合して、一致したときは自動的に拒否することができます。このとき、相手には話中音が聞こえます。

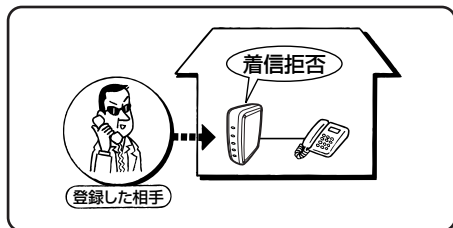
迷惑電話番号は、最大20件まで登録できます。電話番号が通知されない「非通知」の電話を拒否することもできます。

● 必要な契約

番号を通知してくれるのは、INSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般の電話回線からかかってくる迷惑電話を防止するには、INSナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。

● 必要な設定

迷惑電話を切った直後にその番号を登録する方法、あらかじめ迷惑電話番号を登録しておく方法があります。また、非通知の電話を着信拒否するかどうかを設定することもできます。



迷惑電話を切った直後に設定する

迷惑電話を切った直後に電話機で以下の操作を行うと、直前の電話の相手の番号が迷惑電話番号として登録され、迷惑電話防止をセットすることができます。

キャッチホン(☛P116)で、お話し中にかかってきた電話に出た場合は、迷惑電話番号として登録できません。

TELで設定

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→フッキング→*→*①⑧④(「ブブッ」という確認音が聞こえ、設定されます)→ハンドセットを置く

あらかじめ設定しておく

迷惑電話番号をあらかじめ設定しておくときは、以下の操作を行います。

TELで設定 (☛P174)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→* * *→①→⑥⑦→*→電話番号(最大32桁)→#→ハンドセットを置く

PCで設定

機能	PCで設定 (☛CD-ROM)	設定内容
迷惑電話防止 電話番号	TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	[着信履歴]の[この番号を登録]をクリックして電話番号を登録する



ワンポイント

● 迷惑電話番号を解除するには

迷惑電話番号を解除すると、登録している電話番号すべてがクリアされます。

TELで設定 ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(6)****(7)**→**(*)**→**(#)**→ハンドセットを置く

PCで設定 TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」(←CD-ROM「参考情報」)



お知らせ

- 迷惑電話防止機能を便利に利用するためには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- もう一方のアナログポートに接続した電話機で設定を行っているときは、迷惑電話番号を登録することはできません。
- データポートへの着信に対して、着信拒否を設定することはできません。
- 「110」、「118」、「119」を迷惑電話防止電話番号として登録しても、設定は無効になります。着信を拒否することはできません。

非通知の着信拒否を設定する

電話番号が通知されない着信を拒否することができます。

TELで設定 (←P174)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(6)****(6)**→**(*)**→**(0)**→**(#)**→ハンドセットを置く

PCで設定

機能	PCで設定 (←CD-ROM)	設定内容
非通知拒否	TEL1・2ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	非通知の着信拒否をする場合は、「拒否する」をチェックする



お知らせ

- 非通知拒否を「拒否する」に設定すると、次の着信を拒否します。
 - ・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に一般の電話回線から着信したとき
 - ・公衆電話からかかってきたとき
 - ・相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
 - ・INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

3人でお話するには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

外の相手とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話することができます。

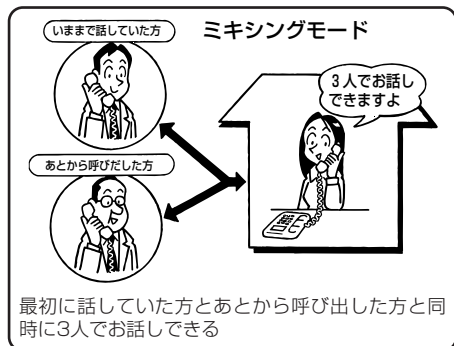
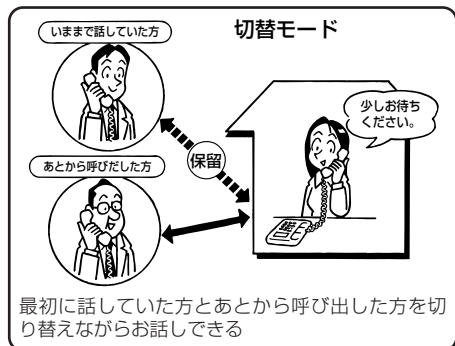
フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の2つの方法があります。

フレックスホン三者通話 (切替モード／ミキシングモード)



お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話できます。ほかのポートを使用中でも、三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



● **必要な契約**

フレックスホンの三者通話機能の契約 (有料) が必要です。

● **必要な設定**

三者通話の設定が必要です。

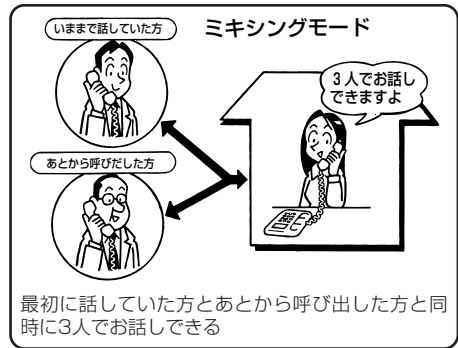
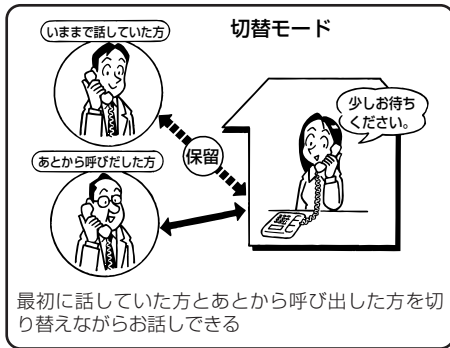
機能	TELで設定 (P172)	PCで設定 (CD-ROM)	設定内容
三者通話	機能番号: 50	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「三者通話する」を選択する

疑似三者通話 (切替モード/ミキシングモード)

設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートが空いているときに三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、3人同時にお話しする「ミキシングモード」があります。



● 必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機能	TELで設定 (P172)	PCで設定 (CD-ROM)	設定内容
三者通話	機能番号 : 50	TEL 1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

(次ページへ続きます)

3人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)

相手を切り替えてお話しする (切替モード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブップブツ…」という発信音が聞こえます。この段階では外の相手には何も聞こえません。20秒以内に手順2の操作を行ってください。20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに **Ⓜ** ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)
疑似三者通話の場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
フレックスホン三者通話の場合、最初に話していた方には、保留メロディが流れます。



3 相手が出たら、お話しする。



4 お話しする相手を切り替えるには、フッキングする。

フレックスホン三者通話の場合、「ブップブツ…」という発信音が聞こえたあと、約4秒後に別の相手に切り替わります。(話者切替タイム)

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



3人で同時にお話する（ミキシングモード）

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

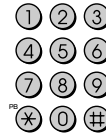
1 お話中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という発信音が聞こえます。この段階では外の相手には何も聞こえません。20秒以内に手順2の操作を行ってください。20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイマ)
電話番号のあとに ⊕ ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)



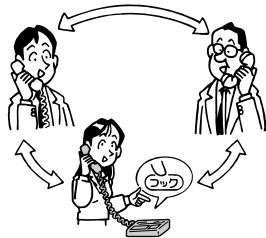
3 相手が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。約4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。(話者切替タイマ)



4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話しできます。
お話し中に一方が電話を切っても、もう一方との通話は継続できます。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



(次ページへ続きます)

3人でお話するには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)



ワンポイント

- 発信するまでの時間を変更するには (ダイヤル桁間タイム)
お買い求め時は4秒に設定されています。
 TELで設定 (機能番号：74) (●P176)
 PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」) (●CD-ROM「参考情報」)
- **Ⓜ** ボタンをダイヤルとして使用するには (ダイヤル終了識別)
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを **Ⓜ** ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「# #で識別する」に設定を変更してください。
 TELで設定 (機能番号：75) (●P176)
 PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」) (●CD-ROM「参考情報」)
- フッキングとは (●P113)
- 相手を切り替えるまでの時間を変更するには (話者切替タイム)
お買い求め時は4秒に設定されています。
 TELで設定 (機能番号：72) (●P174)
 PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」) (●CD-ROM「参考情報」)
- 三者通話のモードを変えるには
次の操作でモードを変えることができます。
 - ・切替モードからミキシングモードへ
1対1でお話中にフッキングして、「プッププッ…」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。
 - ・ミキシングモードから切替モードへ
3人でお話中にフッキングします。「プッププッ…」という音が聞こえたあと、前の相手に切り替わります。
- 三者通話 (切替モード) 中にハンドセットを置くと
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話できます。



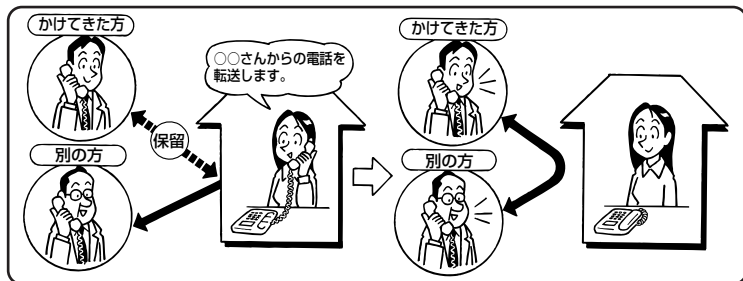
お知らせ

- 三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金ががかかります。
- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン (●P18) の三者通話をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 三者通話 (ミキシングモード) 中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイムで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合は、**Ⓜ** ボタンによる発信はできません。
- ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「プッププッ…」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送 (●P131) の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送される場合があります。
- 疑似三者通話と通信中転送 (●P131) を同時に設定した場合は、通信中転送が優先され、疑似三者通話 (ミキシングモード) はご利用になれない場合があります。
- 疑似三者通話はBチャンネル2本を同時に使用するため、以下の制限があります。
 - ・2つのアナログポートで同時に利用できません。
 - ・Bチャンネル2本を同時に利用しているときは利用できません。
 - ・お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）



外の相手からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。
あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



- **必要な契約**
フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。
- **必要な設定**
通信中転送の設定が必要です。

機能	TELで設定 (☛P172)	PCで設定 (☛CD-ROM)	設定内容
通信中転送	機能番号：51	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「使用する」を設定する

お話し中に転送する

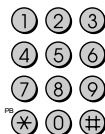
1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブツブツ…」という発音音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに **☎** ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「ブルルル、ブルルル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。



（次ページへ続きます）

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発着番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定



（前ページの続きです）

3 相手が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「ブップブッ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイム）



4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。



ワンポイント

- フッキングとは（➡P113）
- 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイム）
お買い求め時は4秒に設定されています。
TELで設定（機能番号：74）（➡P176）
PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（➡CD-ROM「参考情報」）
- **Ⓜ** ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを**Ⓜ** ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「##で識別する」に設定を変更してください。
TELで設定（機能番号：75）（➡P176）
PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（➡CD-ROM「参考情報」）
- 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイム）
お買い求め時は4秒に設定されています。
TELで設定（機能番号：72）（➡P174）
PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（➡CD-ROM「参考情報」）
- 通信中転送を中止するには
ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話できます。



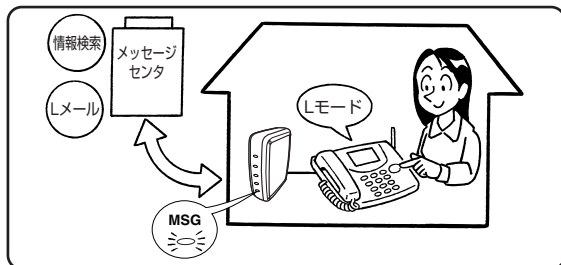
お知らせ

- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（➡P18）の通信中転送をご利用できません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- こちらからかけた電話を転送することはできません。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイムで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- 通信中転送と疑似三者通話（➡P127）を同時に設定した場合は、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用にならない場合があります。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、**Ⓜ** ボタンによる発信はできません。

Lモードを利用するには



本商品は、Lモードに対応した電話機を接続してご利用になれます。Lメールがセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、本商品のMSGランプを点灯させたりすることができます。



● 必要な契約

Lモードの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。また、Lモードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・本商品のMSGランプを点灯させる場合

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号：76 (☛P176)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示 (Lモード関連)」(☛CD-ROM)	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	Lモードを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号：09 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「メッセージあり情報通知する」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	Lモードを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P178)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」(☛CD-ROM)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話の呼び分け

6 転送／メッセージ録音

7 電話機からの設定



(前ページの続きです)



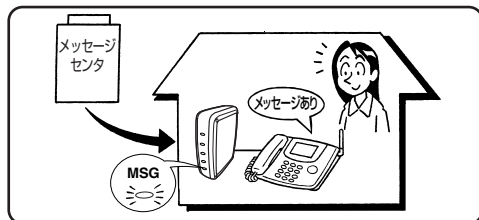
お知らせ

- メッセージあり情報通知（☛P135）を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- Lモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- Lモードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☛P154）を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Lモードについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※「Lモード」サービスは、平成18年11月30日をもって新規申込受付を終了しています。

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには



本商品では、INSネット64のINSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、本商品のMSGランプを点灯させたり、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



● 必要な契約

INSメッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。また、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・ 本商品のMSGランプを点灯させる場合

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号：76 (☛P176)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」(☛CD-ROM)	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・ アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号：09 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P178)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」(☛CD-ROM)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話の呼び分け

6 転送／メッセージ録音

7 電話機からの設定



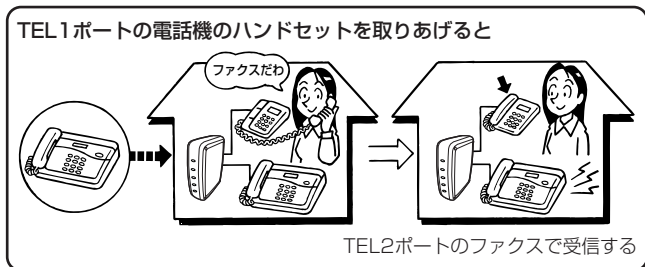
(前ページの続きです)

お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（●P154）を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ファクスを自動転送するには (FAX自動転送) 設定

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



● 必要な設定

電話機をTEL1ポート、ファクスをTEL2ポートに接続します。
FAX自動転送の設定が必要です。

	TELで設定 (P174)	PCで設定 (CD-ROM)	設定内容
FAX自動転送	機能番号：65	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

1 電話機の着信音が鳴る。



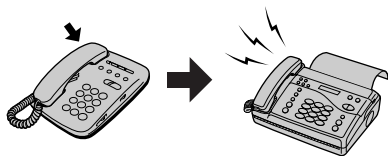
2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー…」という音が聞こえ、TEL2ポートのファクスへ自動転送されます。



3 「ポーポー…」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。



(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファクスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話の呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

(前ページの続きです)



ワンポイント

● ファクスの着信音を鳴らさずに受信するには

TEL2ポートのFAX無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。(☛P139)



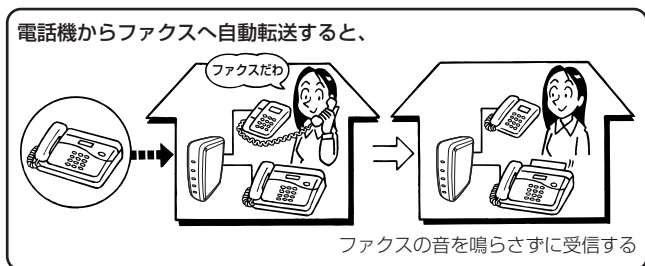
お知らせ

- TEL1ポートにファクス、TEL2ポートに電話機を接続した場合、ファクスの自動転送はできません。
- TEL2ポートが使用中の場合、またはTEL1ポートでお話中にキャッチホンで応答した場合は、自動転送されません。
- 「ブーブー…」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
- TEL2ポートに接続したファクスが約30秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。このとき、相手には通話料金がかかります。
- TEL2ポートのファクスに自動転送した場合は、転送先のファクスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。
- FAX自動転送を「する」に設定すると、TEL2ポートではキャッチホンはご利用になれません。
- 相手がファクス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。
- 相手からファクス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。(☛P110)

着信音を鳴らさずにファクスを受信するには (FAX無鳴動着信)



無鳴動信号1300 Hz対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。
この機能をご利用になるには、FAX自動転送または接続機器の設定が必要です。



● 必要な設定

アナログポートごとにFAX無鳴動着信の設定が必要です。
無鳴動信号1300 Hzを受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。

FAX無鳴動着信は、次の場合にご利用になれます。

- FAX自動転送 (●P137) を設定し、TEL2ポートのファクスに自動転送したとき FAX無鳴動着信、FAX自動転送の設定が必要です。
- HLC設定 (高位レイヤ整合性) を「しない」に設定しているとき、および接続機器の設定を「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、HLC設定 (高位レイヤ整合性) を「する」に設定している場合に、高位レイヤ整合性をG2/G3ファクスに設定した通信機器から着信したとき (●CD-ROM「参考情報」) FAX無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

■ 設定例

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートに無鳴動信号1300 Hz対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX自動転送の設定を行います。(●P137)

TEL2ポートにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
FAX無鳴動着信	機能番号：29 (●P184)	TEL2ポート設定画面「その他」(●CD-ROM)	「FAX無鳴動着信する」を設定する
FAX自動転送	機能番号：65 (●P174)	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」(●CD-ROM)	「FAX自動転送」を設定する



お知らせ

- 次のような場合は、接続機器の設定によってFAX無鳴動着信を利用することはできません。FAX自動転送によってご利用になることはできません。
 - 相手が一般の電話回線からファクスを送信したとき
 - 相手の高位レイヤ整合性の設定がG2/G3ファクス以外るとき
 - 本商品の接続機器の設定が「電話機」で、かつHLC設定が「する」に設定されているとき

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファクスのいろいろな使いかた

4 通知と表示

5 の呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定



発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INSネット64のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機との通信でご利用になれます。

■ 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。

サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（☛P158）

i・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（☛P182、CD-ROM「参考情報」）

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INSネット64ご契約時の内容、本商品の発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

● INSネット64ご契約時の内容

INSネット64のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信者番号通知の設定

ポートごとに「通知する」、「通知しない」、「INSネット64申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INSネット64申込内容に従う」に設定されています。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	本商品の設定	ダイヤル操作		
		相手番号 (通常の操作)	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	×	×	○

○：通知する

×：通知しない

● 設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知	機能番号：21 (P182)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(CD-ROM) データポート設定画面 「発信・着信」(CD-ROM)	次のいずれかを選択する 「通知する」：発信者番号を通知する 「通知しない」：発信者番号を通知しない 「INSネット64申込内容に従う」：INSネット64の契約時の内容(「通常通知」または「通常非通知」)に従って通知する



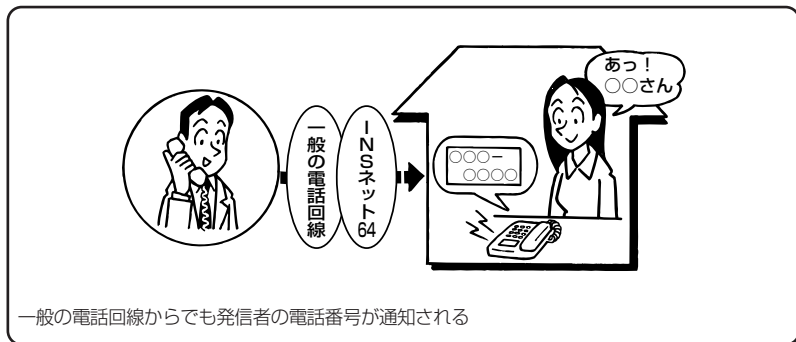
お知らせ

- 発信者番号通知を「通知する」または「通知しない」に設定し、i・ナンバー (P150) を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。
TELで設定 (機能番号：20) (P182)
PCで設定 (CD-ROM「参考情報」)
- 発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー (P150) を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択した i・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示するには (INSナンバー・ディスプレイ)



一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。
相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

● 必要な設定

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INSナンバー・ディスプレイを設定する

TELで設定 (P180)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる → * * * → 設定するTELポートの番号 (① または ②) → ① ② → * → ① → # → ハンドセットを置く

PCで設定

イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P50、62)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号：11) (←P180)



お知らせ

- INSナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者番号は通知されません。

(次ページへ続きます)



(前ページの続きです)

■ 相手の電話番号が通知されない理由 (非通知理由)

次の場合は、電話番号は通知されずに非通知理由が通知されます。

- ・ 公衆電話からかかってきたとき
- ・ 相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- ・ INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する (INSナンバー・リクエスト)



電話番号を通知しないでかけてきた相手に、「こちらは〇〇〇です。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

● 必要な契約

INSナンバー・リクエストの契約 (有料) が必要です。ただし、INSナンバー・ディスプレイを契約している場合のみお申し込みいただけます。

● 必要な設定

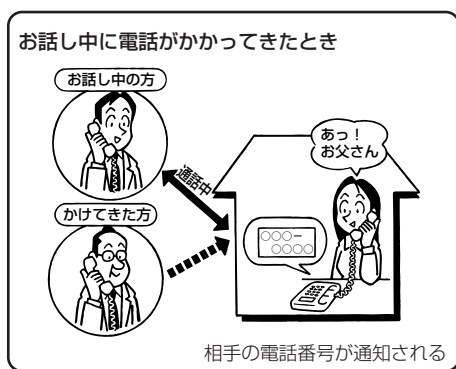
INSナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

キャッチホンと組み合わせて利用する (キャッチホン・ディスプレイ)



INSナンバー・ディスプレイと、キャッチホン (INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン) の機能を組み合わせて利用することができます。

外の相手とお話中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



● 必要な契約

INSナンバー・ディスプレイとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約 (有料) が必要です。INSナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約 (有料) が必要です。

相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

● 必要な設定

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。
 ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10 (☛P180)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
キャッチホン	機能番号：02 (☛P178)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「INSキャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：25 (☛P184)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号：26) (☛P184)



お知らせ

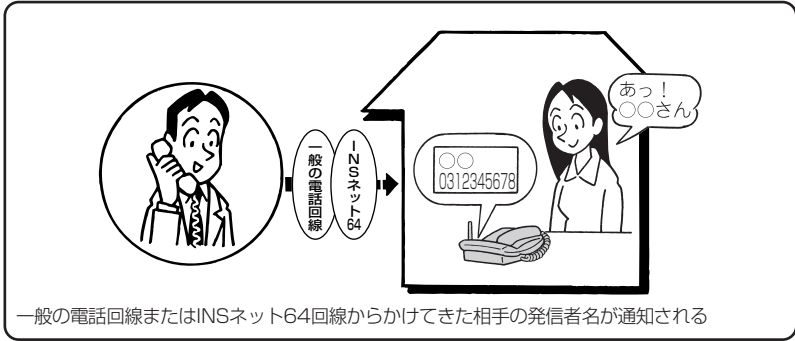
- INSナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「ブツッ、ブツッ……」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度、通話が途切れます。

電話をかけてきた相手の名前を表示するには (ネーム・ディスプレイ)



本商品では、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであるネーム・ディスプレイをご利用になれます。電話がかかってくると、ネーム・ディスプレイに対応したアナログ通信機器に、電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。

表示される発信者名は、かけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名前になります。



● **必要な契約**

INSナンバー・ディスプレイ (有料) と、ネーム・ディスプレイ (有料) の契約が必要です。

● **必要な設定**

アナログポートに、ネーム・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が必要です。

機能	TEL1で設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	機能番号：88 (☛P186)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛CD-ROM)	「ネーム・ディスプレイ発信者名通知する」を設定する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定



ワンポイント

● キャッチホン・ディスプレイ (P144) と組み合わせて利用すると

外の相手とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。



お知らせ

- アナログ通信機器によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者名は通知されません。
- ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

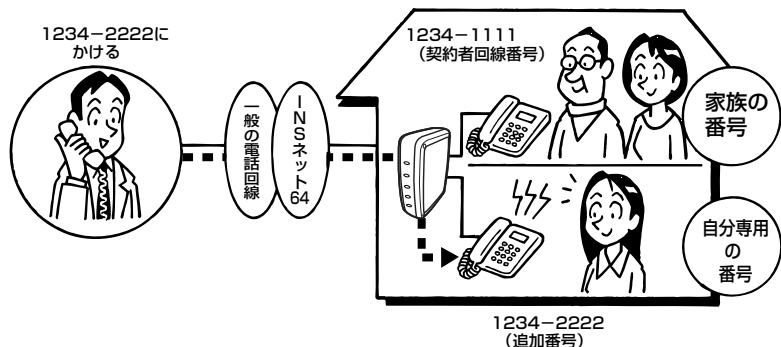
呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける (P150)



1回線で2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。



ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける (P152)

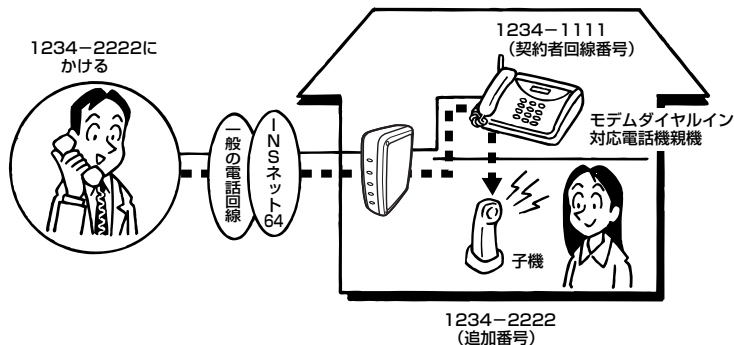


i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

1台のアナログ機器で電話番号を使い分ける (P154)



i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の機器で複数の電話番号を使い分けることができます。



1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ

3 ファクスのいろいろ

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

設定

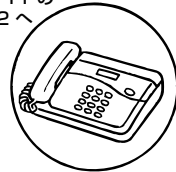
サブアドレスを指定して呼び分ける (P158)

電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。

1234-1111 の
サブアドレス11へ
かける



1234-1111 の
サブアドレス12へ
かける



INSネット64



設定

HLCの設定で呼び分ける (P159)

INSネット64からの着信は、相手のHLC（高位レイヤ整合性）の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1つの電話番号で呼び分けることができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



HLCの設定「する」
接続機器の設定
「電話機」



HLCの設定「する」
接続機器の設定
「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)



i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

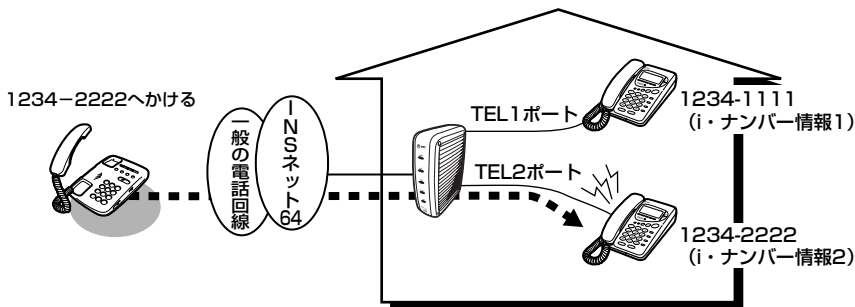
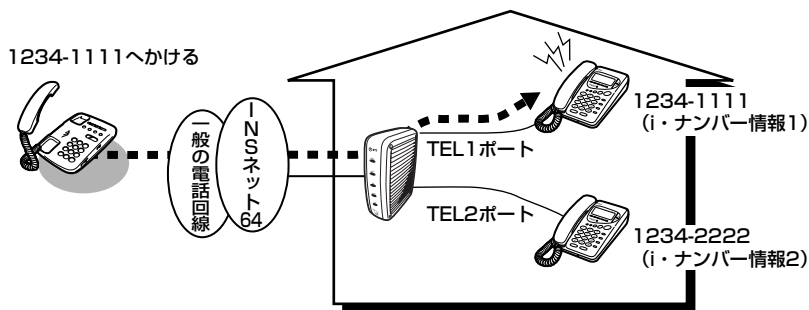
i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1つめの電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報1、2つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報2、3つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報3となります。

お買い求め時は、1つめの電話番号はTEL1ポート、2つめの追加番号はTEL2ポートに着信するように設定されています（3つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません）。着信するポートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

i・ナンバーを設定する

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



TELで設定 (●P178、182)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● **i・ナンバーを「使用する」に設定する**

ハンドセットを取りあげる→***************→**0**→**8****3**→*****→**1**→**#**→ハンドセットを置く

● **i・ナンバー情報1の電話番号を設定する**

ハンドセットを取りあげる→***************→**0**→**8****4**→*****→契約者回線番号(例:12341111)
→**#**→ハンドセットを置く

● **i・ナンバー情報2の電話番号を設定する**

ハンドセットを取りあげる→***************→**0**→**8****5**→*****→追加番号(例:12342222)
→**#**→ハンドセットを置く

● **TEL1ポートの発信者番号を設定する**

ハンドセットを取りあげる→***************→**1**→**2****0**→*****→契約者回線番号(例:12341111)
→**#**→ハンドセットを置く

● **TEL2ポートの発信者番号を設定する**

ハンドセットを取りあげる→***************→**2**→**2****0**→*****→追加番号(例:12342222)
→**#**→ハンドセットを置く

PCで設定

イーザーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(●P50、62)

また、設定ユーティリティの「i・ナンバー設定」で、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定を個別に設定することができます。(●CD-ROM「参考情報」)

**ワンポイント**● **親機と子機で番号を使い分けるには**

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(●P154)

**お知らせ**

- i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

**お願い**

- 発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知(●P140)で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号:20) (●P182)

PCで設定 (●CD-ROM「参考情報」)

ダイヤルイン/グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン/グローバル着信)



ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに、最大8個の電話番号を設定することができます。

● 必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

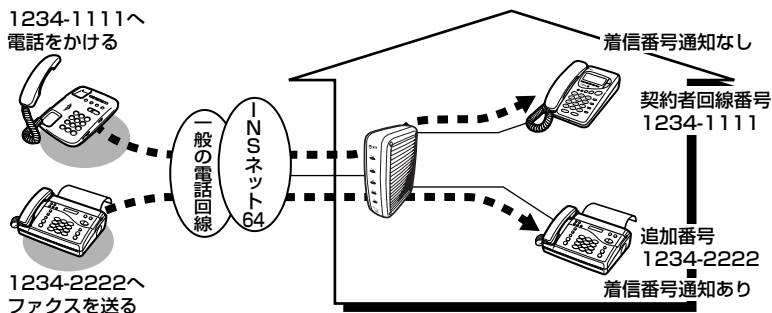
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

● 必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



機能	TELで設定	設定内容
グローバル着信	機能番号：03 (☛P178)	TEL1ポートは「グローバル着信する」に設定する TEL2ポートは「グローバル着信しない」に設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポートは契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートは追加番号（1234-2222）を入力する
着信する番号	機能番号：30～37 (☛P184)	TEL1ポートの着信する番号0に契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートの着信する番号0に追加番号（1234-2222）を入力する

1
すぐに使えます

2
電話の
かた
いろ
いろ

3
ファ
クス
の
か
た
いろ

4
発信
者番
号の
通
知と
表
示

5
電話
や
ファ
クス
の
呼
び
分
け

6
転
送
メ
ッ
セ
ー
ジ
録
音

7
電話
機
か
ら
の
設
定

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(●P50、62)
ダイヤルインの追加番号が3個以上の場合、設定ユーティリティで設定します。(TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「発信・着信1」)(●CD-ROM「参考情報」)



ワンポイント

● グローバル着信とは

契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、本商品は、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を1つ契約するだけで2台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。

● グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

● 1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(●P156)



お知らせ

- ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。



お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知(●P140)で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号:20) (●P182)

PCで設定 (●CD-ROM「参考情報」)

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには (モデムダイヤルイン)



モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。

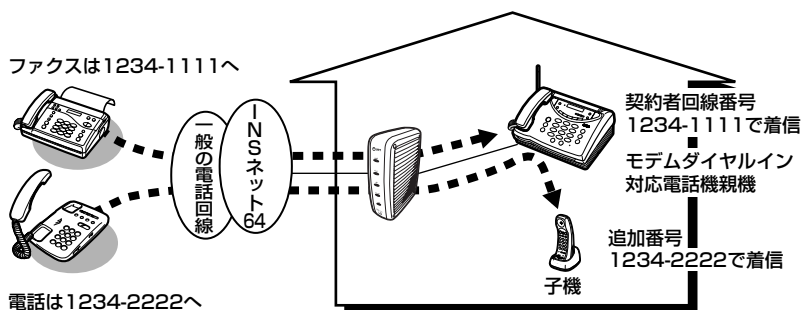
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。

また、モデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（▶P178、CD-ROM「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号：83 (☛P178)	i・ナンバー設定画面 (☛CD-ROM)	「使用する」を選択する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報1	機能番号：84 (☛P178)	i・ナンバー設定画面 (☛CD-ROM)	契約者回線番号（1234-1111）を入力する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報2	機能番号：85 (☛P178)	i・ナンバー設定画面 (☛CD-ROM)	追加番号（1234-2222）を入力する
i・ナンバー 着信設定	機能番号：24 (☛P184)	i・ナンバー設定画面 (☛CD-ROM)	TEL1ポートのみ i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2着信可
発信ポート 番号指定	機能番号：23 (☛P182)	i・ナンバー設定画面 (☛CD-ROM)	TEL1ポートに i・ナンバー情報1を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」 (☛CD-ROM)	TEL1ポートの発信者番号として、契約者回線番号（1234-1111）または追加番号（1234-2222）を入力する
モデムダイヤル イン着信電 話番号通知	機能番号：12 (☛P180)	TEL1ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」 (☛CD-ROM)	TEL1ポートは「する」に設定する

- このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（☛P178、CD-ROM「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。



(前ページの続きです)

ダイヤルインを利用する場合

● 必要な契約

ダイヤルインの契約 (有料) が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号 (追加番号が1つであれば2つの電話番号) を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

● 必要な設定

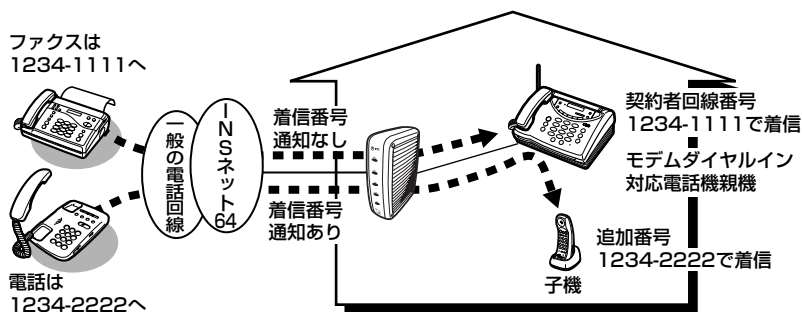
モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。

また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号 (1234-1111) はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号 (1234-2222) は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号 (1234-1111)、子機に追加番号 (1234-2222) を設定します。



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤルイン用契約者回線番号	機能番号：61 (☛P174)	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」 (☛CD-ROM)	契約者回線番号 (1234-1111)を入力する
グローバル着信	機能番号：03 (☛P178)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」 (☛CD-ROM)	TEL1ポートは「グローバル着信する」を設定する
着信する番号	機能番号：30 ～37(☛P184)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」 (☛CD-ROM)	TEL1ポートの着信する番号0に追加番号(1234-2222)を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12 (☛P180)	TEL1ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」 (☛CD-ROM)	TEL1ポートは「する」を設定する

- このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。



ワンポイント

- **モデムダイヤルインとは**
受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。
- **モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには**
モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。
TELで設定（機能番号：13）（☛P180）
- **グローバル着信を利用しないときは**
グローバル着信の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。



お知らせ

- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、ダイヤルインの追加番号またはi・ナンバー電話番号は、アナログ通信機器に通知されません。
- モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知（☛P133、135）を同時に利用することはできません。



お願い

- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ずi・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。
- ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を市内局番から設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス)



サブアドレスを設定すると、相手が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。

サブアドレスは、相手がINSネット64に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

● 必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。

お買い求め時は、相手がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受けないようにするには、サブアドレスなし着信の設定を「着信しない」にします。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号：38 (☛P184)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信」(☛CD-ROM) データポート設定画面「発信・着信」(☛CD-ROM)	ポートごとに任意の番号(最大19桁)を入力する
サブアドレスなし着信 (サブアドレスなしの着信を受け付けない場合)	機能番号：04 (☛P180)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信」(☛CD-ROM) データポート設定画面「発信・着信」(☛CD-ROM)	サブアドレスなしの着信を受け付けない場合は、「サブアドレス着信しない」を設定する



ワンポイント

● 相手が一般の電話回線からかけてきたときは

サブアドレスを指定できない一般の電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受けることができます。サブアドレスによる呼び分けはできません。



お知らせ

- サブアドレスなし着信を「着信しない」に設定すると、一般の電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

HLCの設定で呼び分けるには (HLC・接続機器設定)



接続機器の設定に加えて、HLC設定をすることで電話機とファクスを呼び分けることができます。

相手のHLCの設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手がINSネット64から発信した場合、携帯電話機やPHS対応電話機から発信した場合にご利用になれます。

● 必要な設定

アナログポートごとに、HLC設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
HLC設定	機能番号：39 (☛P184)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」 (☛CD-ROM)	HLC設定を「する」に設定する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P178)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」 (☛CD-ROM)	TEL1ポート、TEL2ポートに接続する機器に合わせてどちらかを選択する 「電話機」 ：HLC設定が「電話」の相手からの着信を受ける 「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」 ：HLC設定が「G2／G3ファクス」の相手からの着信を受ける

1
すぐに使えます

2
な電話のいろいろ

3
いろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
の呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



ワンポイント

- 相手が一般の電話回線からかけてきたときは
一般の電話回線からの着信は、HLCが設定されていません。HLCの設定による呼び分けはできません。
- HLCの設定の違いにより着信できないときは
HLCの設定が異なるポートには着信しません。この場合は、HLCの設定を「しない」に設定してください。



お知らせ

- アナログポートにファクス付き電話機を接続したときは、相手が電話でもファクスでも着信を受けられるようにHLCの設定を「しない」にしてください。

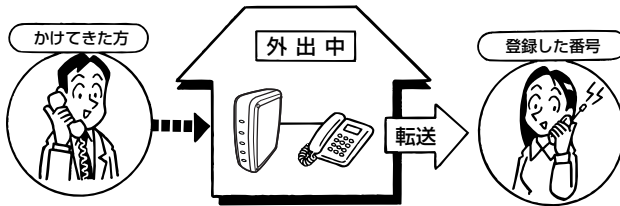
電話に出られないときのいろいろな方法

かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する (P162)



フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。



疑似着信転送で指定した番号へ転送する (P162)



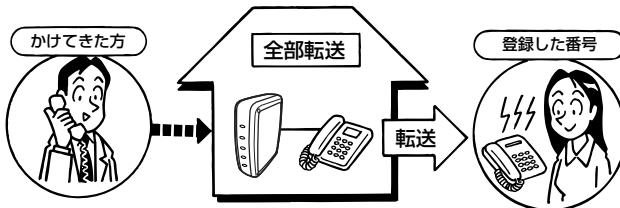
疑似着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトで条件を指定して転送する (P167)



かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2つのポートを使用中に転送するの3つの中から、条件を選択して転送します。転送先は5か所まで登録できます。

◆無条件転送



1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ

3 ファックスのいろいろ

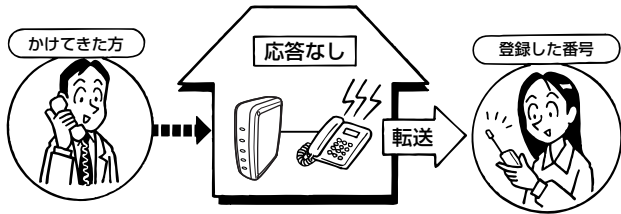
4 通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

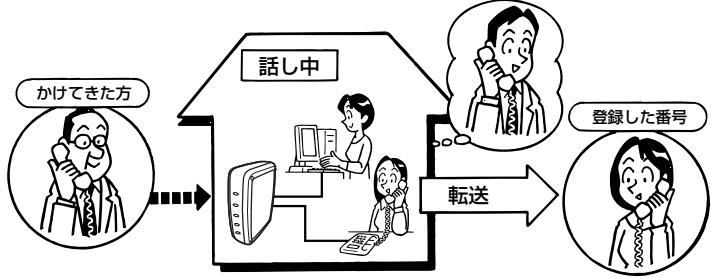
6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

◆無応答時転送



◆話中時転送

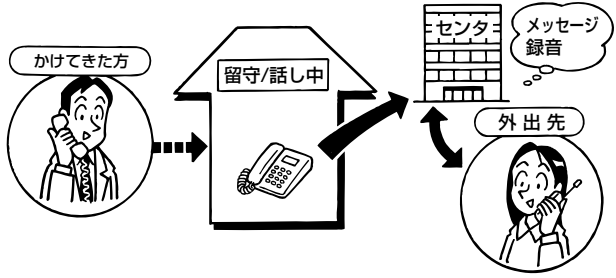


INSマジックボックスですべての電話をキャッチする



(P169)

お話し中や不在時など、電話に出られないときは、相手に当社のメッセージセンタにメッセージを録音してもらい、あとで聞くことができます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送することもできます。キャッチホンもご利用になれます。



外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送/疑似着信転送)

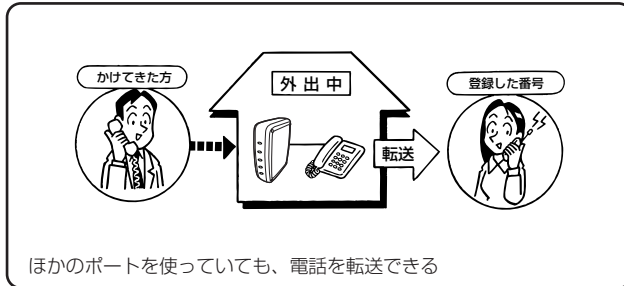
外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の2つの方法があります。

着信転送 (フレックスホン)



かかってきた電話を転送することができます。

電話をかけてきた相手、転送先の相手に転送することを音声で知らせることができます。(転送トーキ、転送元トーキ)



転送中の音声アナウンス (転送トーキ、転送元トーキ)

転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス (転送トーキ)
「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス (転送元トーキ)
「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

● 必要な契約

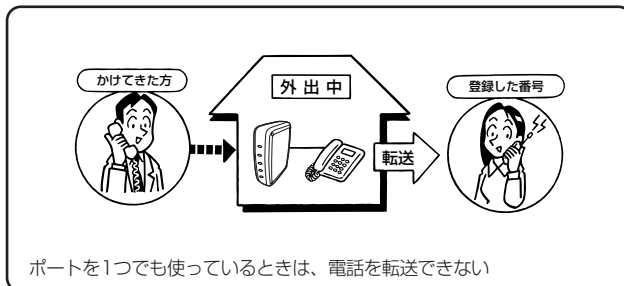
フレックスホンの着信転送機能の契約 (有料) が必要です。

フレックスホンの他の機能 (INSキャッチホン、通信中転送、三者通話) もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送



すべてのポートが空いている時に、かかってきた電話を転送することができます。



着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。

着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。

■ 設定例

契約者回線番号（03-1234-1111）にかかってきた電話を03-XXXX-5555へ転送する場合

TELで設定 (☎P172、174)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 着信転送または疑似着信転送を設定する

ハンドセットを取り上げる→***************→**0**→**5****2**→*****→**1**または**2**（疑似着信転送：①、着信転送：②）→**#**→ハンドセットを置く

● 着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取り上げる→***************→**0**→**5****4**→*****→転送先の電話番号（03-XXXX-5555）→**#**→ハンドセットを置く

● 着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取り上げる→***************→**0**→**5****7**→*****→転送元の電話番号（03-1234-1111）→**#**→ハンドセットを置く

● 着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する

ハンドセットを取り上げる→***************→**0**→**5****3**→*****→**0**～**3**のいずれか→**#**→ハンドセットを置く

①：転送トーキなし、転送元トーキなし

②：転送トーキあり、転送元トーキなし

③：転送トーキなし、転送元トーキあり

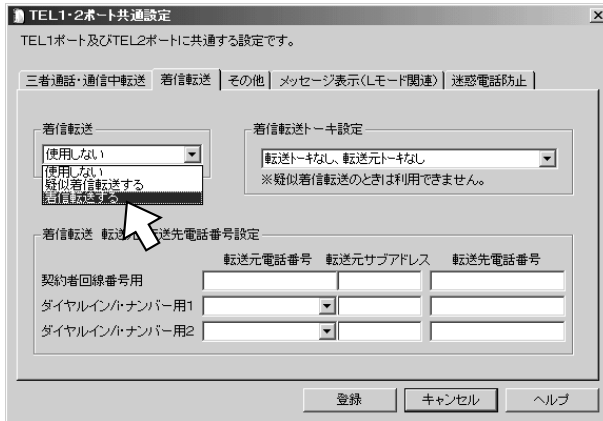
④：転送トーキあり、転送元トーキあり

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送/疑似着信転送)

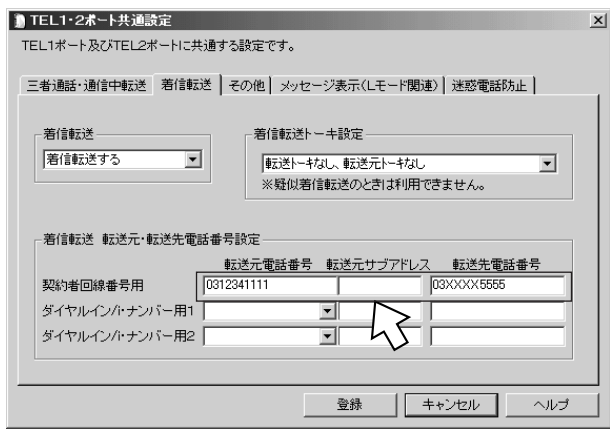
(前ページの続きです)

PCで設定 (●CD-ROM「参考情報」)

- 1 設定ユーティリティを起動する。(●P67、69、70)
- 2 [TEL1・2ポート共通設定] をクリックする。
- 3 [着信転送] をクリックする。
- 4 [着信転送する] または「疑似着信転送する」を選択する。



5 契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111）、転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。



6 着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トークンを次のいずれかから設定する。

- 転送トークンなし、転送元トークンなし
- 転送トークンあり、転送元トークンなし
- 転送トークンなし、転送元トークンあり
- 転送トークンあり、転送元トークンあり

7 [登録] をクリックする。

8 [終了] をクリックする。

9 [OK] をクリックする。

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)



ワンポイント

● 着信転送、疑似着信転送を停止/再開するには

電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する

ハンドセットを取り上げる→ * * * 0 5 2 * 0 # を押す

- 着信転送を再開する

ハンドセットを取り上げる→ * * * 0 5 2 * 2 # を押す

- 疑似着信転送を再開する

ハンドセットを取り上げる→ * * * 0 5 2 * 1 # を押す

● 着信転送、疑似着信転送が行われているときは

ACTランプが緑色の点灯と点滅を繰り返します。(●P25)

ただし、回線に異常がある場合やデータポートで通信している場合は、その表示が優先されます。



お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。
- 転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。
- 転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。
- 転送元に着信があっても、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。
- 疑似着信転送では、転送先への通話料金はTEL1ポートに加算されます。
- グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。
- ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用1またはダイヤルイン用2の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。
- i・ナンバー(●P150)をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー(●P150)をご利用のときに、3つめの電話番号(追加番号)で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー(●P150)を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ずi・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

条件を指定して転送するには (INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト)

INSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。INSボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は5か所まで登録できます。

INSボイスワープセレクトをご利用になると、INSボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INSボイスワープ



転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する (無条件転送)
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する (無応答時転送)
- 2つのポートを使用中のとき、または着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1つのポートが空いていても着信できないときに転送する (話中時転送)

INSボイスワープセレクト



INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する (登録番号転送モード)
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない (登録番号着信モード)
- すべての着信を転送する (全番号転送モード)

● 必要な契約

INSボイスワープ/ボイスワープセレクトの契約 (有料) が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSボイスワープ/ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

(次ページへ続きます)



お知らせ

- INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

1
すぐに使えます

2
電話の
使いの
かいろ
いろ

3
フア
クスの
使いの
かいろ

4
発信
者番号
の
表示

5
電話
の呼び
分け
フア
クスの

6
転送
メッ
セー
ジ録
音

7
電話
機から
の設定

条件を指定して転送するには（INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト）

（前ページの続きです）

TELで設定（☛P182）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 発信者番号を登録する

ハンドセットを取り上げる→* * *→設定するTELポートの番号（①または②）→②①

→*→電話番号→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。（☛P50、62）

すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)



INSマジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INSキャッチホンの機能を1つにまとめたサービスです。不在時には、相手にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

■ メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。

メッセージは1件3分まで、最大20件まで録音できます。メッセージの保存期間は7日間です。

● 必要な契約

INSマジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSマジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：20 (☛P182)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛CD-ROM)	電話番号（最大32桁）を入力する

INSマジックボックスのINSキャッチホンをご利用になる場合は、INSキャッチホンの設定を行ってください。(☛P116)

INSマジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。



お知らせ

- INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

1
すぐに使えます

2
電話の
使いの
かた
り
る

3
ファ
クス
の
か
た
り

4
発
信
者
番
号
の
通
知
と
表
示

5
電
話
の
呼
び
分
け
フ
ァ
ク
ス

6
転
送
メ
ッ
セ
ー
ジ
録
音

7
電
話
機
か
ら
の
設
定

電話機から機能を設定するには

本商品のさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート（TEL1ポートまたはTEL2ポート）に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。

本商品がINSネット64に接続していなくても、設定は行えます。

以下の手順をご確認のうえ、設定一覧（●P172）の表をご覧ください。

ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

設定手順

〈例〉TEL1ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64に接続していないときは話中音が聞こえます。



2 * * * と押す。

「プッ」という設定開始音が聞こえます。



3 ポート番号を押す。

①：TEL1、TEL2ポート共通設定

①：TEL1ポート設定

②：TEL2ポート設定

〈例〉TEL1ポート設定



4 機能番号を押す。

〈例〉キャッチホン



5 * ボタンを押す。

* (区切り記号)

6 設定値をダイヤルボタンで押す。

〈例〉疑似キャッチホン



7 # ボタンを押す。

「プップ」という確認音が聞こえ、設定内容が保存されます。



8 ハンドセットを置く。



共通の終了操作です。

その他の設定は、設定一覧（●P172）の表をご覧ください。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定



ワンポイント

- **続けて設定するには**
手順7の操作のあと、手順3に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。
- **操作を間違えたときは**
「ブッブッブッ」 という音が聞こえます。手順3からやり直してください。
- **設定を中止するには**
ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約60秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「ブッブ」 という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。
- **リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは**
手順7で「ブッブ」 という確認音は聞こえず、本商品が再起動します。



お知らせ

- 2台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。
- 手順7で(⊕) ボタンを押したあと、ハンドセットを置く前に本商品の電源アダプタを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

■ 設定一覧

● アナログポート共通の機能

TEL1ポート、TEL2ポート共通の機能です。ポート番号は①を押します。設定手順（☛P170）を参考に、左から順に操作します。

● 設定した電話番号の消去方法

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→ポート番号→機能番号→[*]→[#]→ハンドセットを置く。

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
50	三者通話（☛P126）	 [*][*][*]	①	⑤①
51	通信中転送（☛P131）	 [*][*][*]	①	⑤①
52	着信転送（☛P163）	 [*][*][*]	①	⑤②
53	着信転送トーク設定 （☛P163）	 [*][*][*]	①	⑤③
54	着信転送先電話番号 （契約者回線番号用） （☛P163）	 [*][*][*]	①	⑤④
55	着信転送先電話番号 （ダイヤルイン／i・ナ ンバー用1）（☛P163）	 [*][*][*]	①	⑤⑤
56	着信転送先電話番号 （ダイヤルイン／i・ナ ンバー用2）（☛P163）	 [*][*][*]	①	⑤⑥

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定

※下線 は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作															
⊛	①：使用しない ②：疑似三者通話 ③：三者通話	⊞ 															
⊛	①：使用しない ②：使用する	⊞ 															
⊛	①：使用しない ②：疑似着信転送 ③：着信転送	⊞ 															
⊛	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>転送トーン</th> <th>転送元トーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td><u>なし</u></td> <td><u>なし</u></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>なし</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>あり</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table>		転送トーン	転送元トーン	①	<u>なし</u>	<u>なし</u>	②	あり	なし	③	なし	あり	④	あり	あり	⊞ 
	転送トーン	転送元トーン															
①	<u>なし</u>	<u>なし</u>															
②	あり	なし															
③	なし	あり															
④	あり	あり															
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞ 															
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞ 															
⊛	転送先の電話番号（最大32桁）	⊞ 															

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
57	着信転送元電話番号 (契約者回線番号用) (☛P163)	 * * *	0	5 7
58	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用1) (☛P163)	 * * *	0	5 8
59	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用2) (☛P163)	 * * *	0	5 9
61	モデムダイヤルイン用 契約者回線番号 (☛P156)	 * * *	0	6 1
62	優先着信ポート指定 (☛P115)	 * * *	0	6 2
64	内線機能 (☛P113)	 * * *	0	6 4
65	FAX自動転送 (☛P137)	 * * *	0	6 5
66	非通知拒否 (☛P125)	 * * *	0	6 6
67	迷惑電話防止電話番号 (☛P124)	 * * *	0	6 7
72	話者切替タイマ (☛P130、132)	 * * *	0	7 2

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	電話番号（最大20桁）	⊞ 
⊛	①：指定しない ①：TEL1ポート ②：TEL2ポート	⊞ 
⊛	①：使用しない ①：使用する	⊞ 
⊛	①：しない ①：する	⊞ 
⊛	①：する ①：しない	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞ 
⊛	②～⑨：話者切替までの時間（2～9秒） （お買い求め時：4秒）	⊞ 

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
73	フッキング検出タイム (☛P113)	 * * *	0	7 3
74	ダイヤル桁間タイム (☛P109)	 * * *	0	7 4
75	ダイヤル終了識別 (☛P109)	 * * *	0	7 5
76	MSGランプ設定 (Lモード関連) (☛P133、135)	 * * *	0	7 6
81	RVS-COM転送 (☛CD-ROM)	 * * *	0	8 1
82	RVS-COMへの移行時間 (☛CD-ROM)	 * * *	0	8 2

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ







3
ファックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音


7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：短い (100~500 ms) ②：普通 (300~1000 ms) ③：長い (500~1500 ms)	⊞ 
⊛	④ ② ~ ① ⑤：ダイヤル桁間の空き時間 (2~15秒) (お買い求め時：4秒)	⊞ 
⊛	①：識別しない ②：⊞で識別する ③：⊞⊞で識別する	⊞ 
⊛	④：メッセージあり状態表示をしない ⑤：メッセージあり状態表示をする	⊞ 
⊛	⑥：アナログ機器の操作で転送/指定時間後に自動転送 ⑦：ただちに自動転送	⊞ 
⊛	⑧ ⑧：無応答時は転送しない(アナログ機器の操作で転送) ⑨ ①：5秒 ⑩ ②：10秒 ⑪ ③：15秒 ⑫ ④：20秒 ⑬ ⑤：25秒 ⑭ ⑥：30秒 ⑮ ⑦：35秒 ⑯ ⑧：40秒 ⑰ ⑨：45秒 ⑱ ⑩：50秒 ⑲ ⑪：55秒 ⑳ ⑫：60秒 ㉑ ⑬：75秒 ㉒ ⑭：90秒 ㉓ ⑮：105秒 ㉔ ⑯：120秒	⊞ 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
83	i・ナンバー (●P150、154)	 * * *	①	⑧ ③
84	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1 (●P150、154)	 * * *	①	⑧ ④
85	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2 (●P150、154)	 * * *	①	⑧ ⑤
86	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報3 (●P150、154)	 * * *	①	⑧ ⑥
999	リセット処理 (お買い求め時の設定) に戻す (●P203)	 * * *	①	⑨ ⑨ ⑨

● アナログポート個別の機能

TEL1ポート、TEL2ポートごとに設定が必要です。

TEL1ポートの設定→ポート番号 ① を押す

TEL2ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
01	接続機器設定 (●P159)	 * * *	① または ②	① ①
02	キャッチホン (●P116、123、145)	 * * *	① または ②	① ②
03	グローバル着信 (●P152)	 * * *	① または ②	① ③

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ
な使いかた

3 ファックスのいろいろ
な使いかた

4 発信者番号の
通知と表示




5 電話やファックス
の呼び分け

6 転送/
メッセージ録音

7 電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	① : 使用しない ② : 使用する	⊞ 
⊛	i・ナンバー情報1に対応した電話番号(最大20桁)	⊞ 
⊛	i・ナンバー情報2に対応した電話番号(最大20桁)	⊞ 
⊛	i・ナンバー情報3に対応した電話番号(最大20桁)	⊞ 
⊛	③ ③ : すべての設定値をお買い求め時に戻す	⊞ 

※下線___は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	① : 電話機 ② : <u>ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機</u>	⊞ 
⊛	① : 使用しない ② : 疑似キャッチホン ③ : INSキャッチホン	⊞ 
⊛	① : 着信する ② : 着信しない	⊞ 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
04	サブアドレスなし着信 (●P158)	 * * *	① または ②	① ④
05	INSなりわけ (●P120)	 * * *	① または ②	① ⑤
06	疑似なりわけ (●P121)	 * * *	① または ②	① ⑥
07	なりわけ動作設定 (●P120、121)	 * * *	① または ②	① ⑦
08	アナログポート接続設定 (●P31、109、110)	 * * *	① または ②	① ⑧
09	メッセージあり情報通知 (Lモード関連) (●P133、135)	 * * *	① または ②	① ⑨
10	ナンバー・ディスプレイ 発信者番号通知 (●P142、145、146)	 * * *	① または ②	① ⑩
11	ナンバー・ディスプレイ 発信サブアドレス付加 設定 (●P143)	 * * *	① または ②	① ⑪
12	モデムダイヤルイン着信 電話番号通知 (●P154、156)	 * * *	① または ②	① ⑫
13	モデムダイヤルイン着 サブアドレス付加設定 (●P157)	 * * *	① または ②	① ⑬

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	① : 着信する ② : 着信しない	⊞ 
⊛	① : 使用しない ② : 使用する	⊞ 
⊛	① : 使用しない ② : 使用する	⊞ 
⊛	① : 識別リング ② : セキュリティ (着信拒否)	⊞ 
⊛	① : アナログ通信機器を接続しない ② : アナログ通信機器を接続する	⊞ 
⊛	① : しない ② : する	⊞ 
⊛	① : しない ② : する	⊞ 
⊛	① : しない ② : する	⊞ 
⊛	① : しない ② : する	⊞ 
⊛	① : しない ② : する	⊞ 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
15	内線呼出信号設定 (☛P113)	 * * *	① または ②	① ⑤
16	着信拒否 (☛P110)	 * * *	① または ②	① ⑥
17	受話音量調整 (☛P109)	 * * *	① または ②	① ⑦
18	ダイヤル種別 (☛P31、109)	 * * *	① または ②	① ⑧
20	発信者番号 (☛P133、135、140)	 * * *	① または ②	② ⑩
21	発信者番号通知 (☛P140)	 * * *	① または ②	② ①
22	発信規制 (☛P109)	 * * *	① または ②	② ②
23	発信ポート番号指定 (☛P154)	 * * *	① または ②	② ③

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：呼出信号1「ブルブル、ブルブル…」 ②：呼出信号2「ブルブル、ブルブル…」	⊞ 
⊛	①：する ②：しない	⊞ 
⊛	①：小 ②：中 ③：大	⊞ 
⊛	①：PB固定 ②：DP固定	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞ 
⊛	①：通知しない ②：通知する ③：INSネット64申込内容に従う	⊞ 
⊛	①：規制しない ②：0発信規制 ③：外線発信規制	⊞ 
⊛	①：i・ナンバー情報1（TEL1ポートのお買い求め時の設定） ②：i・ナンバー情報2（TEL2ポートのお買い求め時の設定） ③：i・ナンバー情報3	⊞ 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
24	i・ナンバー着信設定 (☛P150、154)	 * * *	① または ②	② ④
25	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知 (☛P145)	 * * *	① または ②	② ⑤
26	キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定 (☛P145)	 * * *	① または ②	② ⑥
29	FAX無鳴動着信 (☛P139)	 * * *	① または ②	② ⑨
30～ 37	着信する番号 (0～7) (☛P152)	 * * *	① または ②	③ ⑩～ ③ ⑦
38	サブアドレス (☛P158)	 * * *	① または ②	③ ⑧
39	HLC設定 (☛P159)	 * * *	① または ②	③ ⑨

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ








3 ファックスのいろいろ

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容			終了操作		
*		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3	○=着信可 ×=着信不可 #	
	0	×	×	×		
	1	○	×	×		
	2	×	○	×		
	3	○	○	×		
	4	×	×	○		
	5	○	×	○		
	6	×	○	○		
7	○	○	○			
	お買い求め時の設定 TEL1ポート: ① TEL2ポート: ②					
*	0: しない 1: する				#	
*	0: しない 1: する				#	
*	0: しない 1: する				#	
*	電話番号 (最大32桁)				#	
*	サブアドレス (最大19桁)				#	
*	0: しない 1: する				#	

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
88	ネーム・ディスプレイ 発信者名通知 (▶P146)	 * * *	① または ②	⑧ ⑧
90～ 99	疑似なりわけ番号(0～9) (▶P122)	 * * *	① または ②	⑨ ⑩～ ⑨ ⑨

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた


3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送 /
メッセージ録音

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	① : しない ② : する	⊞ 
⊛	電話番号 (最大32桁) サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあと に ⊛、サブアドレス (最大19桁)	⊞ 